

第 25 期第 2 回 自動運転と共創する未来社会検討小委員会 議事録

日時 令和 3 年 9 月 16 日 17 時～19 時

場所：オンライン開催

出席者（名簿順，敬称略）：大倉典子，小野悠，鎌田実，永井正夫，山川みやえ（17:20～），田中和哉，中野公彦，今井猛嘉，加藤晋，谷口綾子，藤井秀樹，中村彰宏，中村弘毅，ポンサトーン・ラクシンチャラーンサク

配布資料（Slackにて共有）

00_議事次第_自動運転小委（第2回）

01_第25期自動運転と共創する_未来社会検討小委員会第1回議事録案

02_小野先生話題提供資料

03_藤井先生話題提供資料

04_【校正版】学術フォーラム企画案

05_カーボンニュートラル(ネットゼロ)に関する連絡会議

議題

0. 第 1 回議事録確認

1. 情報共有

1.1 学術フォーラム企画案について 永井正夫委員（別添資料 04 参照）

ELSI を踏まえた自動運転の社会実装をテーマとするフォーラムの企画主旨，講演予定者，および開催時期を 2021 年 12 月 13 日を候補としていることが紹介された。

1.2 カーボンニュートラル（ネットゼロ）に関する連絡会議 大倉典子委員（別添資料 05 参照）

カーボンニュートラル（ネットゼロ）に関する連絡会議の設立趣旨，および本課題別小委員会とのかかわりについて紹介された。

2. 話題提供

2.1 都市計画からみる自動運転 小野悠委員（別添資料 02）

都市計画の歴史や，自動運転技術が今後の都市計画に与える影響についての話題提供があった。まず，100 年ほど前から続いてきた都市拡張およびそれに伴って発展してきた都市計画の概念や，20 年ほど前からの人口減少に伴う都市縮退フェーズへ移行している現状が紹介された。次いで，今後の都市機能をコンパクト化させる必要性和現状の都市計画の課題について説明され，自動運転技術が都市機能の分散化，あるいは集約化を加速させる可能性についての考えが示された。また，今後の理想的な都市構造や自動運転技術が与える影響についての議論がなされた。

2.2 新しいモビリティシステムのシミュレーション 藤井秀樹委員（別添資料 03）

微視的交通流シミュレータの紹介および、自動運転技術の評価への応用例が話題提供された。仮想的に路面電車の駅を移動させた際の交通流の変化予測や、各車両を動かすエージェントモデルに視覚認知モデルを実装した際の交通事故再現シミュレーション、信号機と通信可能な自動運転車両に強化学習アルゴリズムを導入した際の燃費改善効果についての研究成果が紹介された。

4. その他

今回は 10 月 8 日 17:00 から実施予定